

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標： 考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第12号

令和4年9月6日

校長 穂山俊之



本小だより



2学期がはじまって



3年生と5年生の国語科で、それぞれ「対話の練習」

「話し合う力は、社会に出た時に欠かせない力」といわれます。

相手の話に耳を傾け、自分の意見を言い、お互いがそれぞれの考えをすりあわせる……。これからの生活の中で大切なことを、発達段階に応じて、繰り返し学んでいます。



【5年生の授業風景】



8月23日(火)の1校時、5年生が国語科の学習で、「対話の練習 どちらを選びますか？」に取り組んでいました。

「校長先生が、犬を飼うか、猫を飼うかを迷っている。校長先生にペットとしてすすめるなら、犬か？猫か？」という想定での、対話の練習です。



この時間は、あくまでも対話の“練習”。相手を論破することが目的ではありません。

子どもたちは、犬派と猫派に分かれ、

- ① それぞれの立場で理由を考える。
- ② 司会者がそれぞれのチームから意見を聞く。
- ③ 考え方がはっきりするように質疑応答をする。
- ④ 質疑応答をふまえて考えを整理し、改めて意見を言う。

という段階を経て、より説得力のある説明ができるように、自分の考えの支えとなる根拠や理由を明確にしていました。

「猫の方が、おとなしいから飼いやすい。」

「犬だって、きちんとしつけをすれば、無駄に吠えたり、噛みついたりしないよ。」

「飼いやすいかどうかは、その人によっても、犬によっても違うのでは？」

「猫は、わざわざ散歩しなくてもいいから、飼いやすいよ。」

「なるほど。でも、外に出て他の人とふれあい、交流する機会が増えるというよさもあるよ。」などなど……。

はたして、より説得力があって、校長先生に納得してもらえるのは、どちらでしょう？

また、「対話力」を身に付けさせるためには、繰り返しの練習も必要です。

「夏休みに出かけるなら、あなたは山派？ 海派？」 「朝食は パン派？ それともごはん派？」

次の楽しいテーマを考えて、さらに磨きをかけていきましょう！

つづいて、3年生は裏面へ





【3年生の授業風景】



8月25日(木)の2校時、3年1組では、国語科「対話の練習 山小屋で三日間過ごすなら？」の学習に取り組んでいました。

もしも「山小屋で三日間過ごすなら」というテーマで、グループでどんなことをするか？何が必要か？ということ話し合っていて決めていくという学習です。

いろいろな意見をグループで出し合い、話し合いをまとめていくことが学習のねらいです。



まずは、自分の考えをまとめます。

3日間でやりたいこと、そのために必要な道具はなんだろう？

かいちゅう電とう、地図、虫取りあみ、ライター、カメラ…などなど、自分がや

りたいことと関わらせ、なぜそれを持っていきたいかの理由も考えます。

その後、グループになって、「考えを広げる話し合い」、「考えをまとめる話し合い」と進んでいく予定です。楽しみながら取り組めそうですね。相手の意見を大切にしながら、どう話し合いをまとめていくか・・・？

前号「全国学力学習状況調査の結果について」でお伝えしたとおり、本校の学習面での課題のひとつが、「筋道立てて考えたり、わかりやすく説明したりする力」です。

6年生だけでなく、他の学年でも、日々の授業の中で意識して取り組んでいます。



国土交通大臣賞 受賞おめでとう！

8月23日(火)に「表彰集会」を実施し、第61回下水道いろいろコンクール 絵画・ポスター部門で見事「国土交通大臣賞」(これは、全国1位に相当する賞です!)に輝いた5年2組遠藤千紘さんに賞状を伝達し、全校生に紹介しました。

またこのほか、七夕展(書道)と地区音楽祭合唱の部の賞状も、代表児童に伝達しました。おめでとうございます。



特設合唱部 Wish ~夢を信じて~ 金賞おめでとう!

8月19日(金)、二本松市民会館を会場に「第75回 安達地区小中学校音楽祭(第1部合唱の部)」が開催され、本校の特設合唱部が出演しました。

練習の成果を十分に発揮し、高橋 侑先生の指揮のもと、4年生から6年生まで15名の児童が、心を一つに合わせて素晴らしい歌声を披露しました。

その結果、見事「金賞」を受賞しました! おめでとうございます。

暑い夏、コロナに負けずに練習を積み重ねたこと、みんなで一つの目標にむかって真剣に取り組んだこと、そして、緊張する中ステージに立ち、ホールいっぱいに歌声を響かせたこと……。子どもたちにとって、これらひとつひとつの経験は、すばらしい思い出になるとともに、生涯の財産になることと思います。

この貴重な経験をこれからの学校生活に生かし、一層活躍してくれることを期待しています。

よくがんばった子どもたちに、拍手を送ります。

保護者の皆様には、音楽祭参加にあたっての諸準備や送迎など、たいへんお世話になりました。そして、応援ありがとうございました。

